

高日射反射率塗料

クールトップ®

カタログ

No.732-2

塩ビ防水シート専用 高耐候性高日射反射率塗料

クールトップ® #500Si



塩化ビニル樹脂系防水シート塗替用水系アクリルシリコン樹脂高日射反射率塗料

# クールトップ<sup>®</sup>#500Si

クールトップ#500Siは、塩化ビニル樹脂系防水シート（塩ビ防水シート）に直接塗装でき、取扱いが容易な水性1液形の高耐候性アクリルシリコン樹脂塗料です。また、太陽光の紫外線カット機能と近赤外線反射機能を併せ持つため、長期にわたって塩ビ防水シートを保護します。更に屋上の温度上昇を抑制し、省エネ効果にも優れる画期的な塗料です。

## 特長

### 塩ビ防水シートに直接塗装可能

塩ビ防水シートに直接塗装しても、可塑剤による表面粘着を生じませんので、粘着による汚れが付着せず、美しい外観を保ちます。プライマーなしでも、塩ビ防水シートとの付着性が良好です。

### 高耐候性

アクリルシリコン樹脂による強靱な塗膜を形成するため、耐候性に優れ、長期にわたり劣化の要因である紫外線から塩ビ防水シートを保護します。

### 優れた遮熱性

太陽光の近赤外領域の光を効率よく反射させることで建物の温度上昇を抑制します。このため熱による塩ビ防水シートの膨れや接合部の口開き、劣化を低減できます。更に粘着の発生がないため、汚れが付着し難いので長期的に遮熱効果を維持します。

### 降雨時の泡立ちの低減

施工後の降雨によって塗膜から溶出する水溶性成分を大幅に低減させましたので、排水のCOD値を抑制し、泡立ちが少なく大規模工事でも、安心して使用できます。

### 環境対応

水性1液形ですので、取扱い易く、環境にも優しい塗料です。

## 用途

塩化ビニル樹脂系防水シートの塗替え（非歩行タイプ）

## 荷姿

16kg

## 外観

つやなし平滑仕上げ

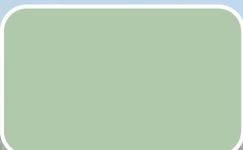
## 色相：標準色



ホワイト



ECOライトグレー

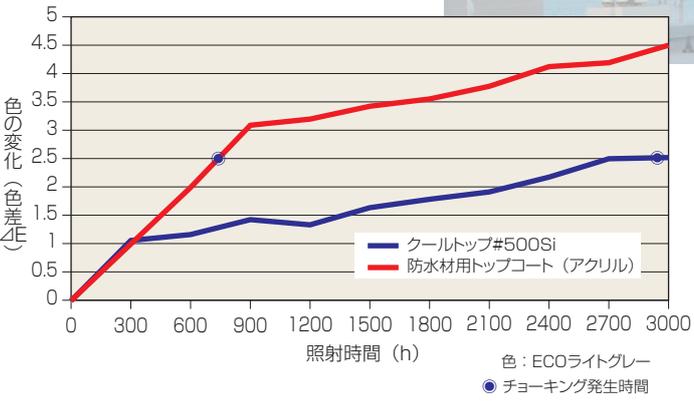


ECOグリーン

注) 印刷見本ですので、現物とは若干の色差があります。

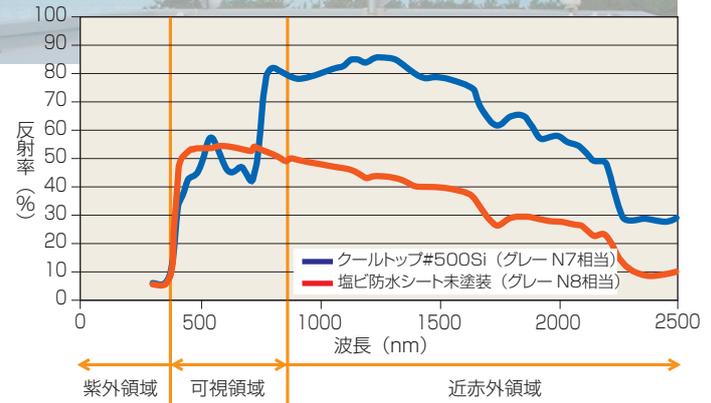
# 性能

## 促進耐候性試験結果(キセノンランプ法)



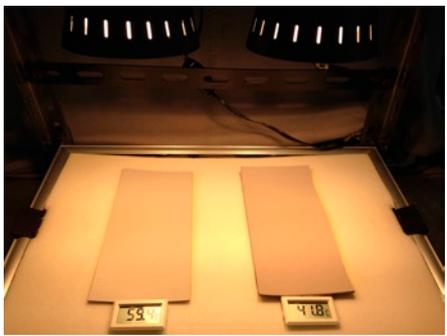
●クールトップ#500Siは色変化が少なく、耐チョーキング性も良好です。

## 遮熱性能

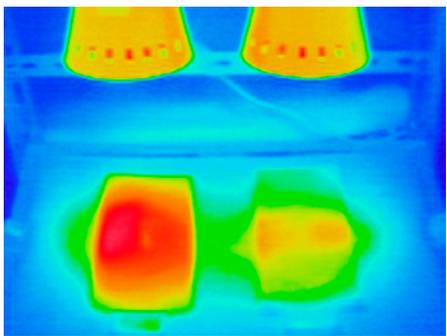


●クールトップ#500Siを塗装した場合、未塗装の塩ビ防水シートと比較して近赤外線領域の光を高いレベルで反射するため、太陽光による温度上昇を抑制します。

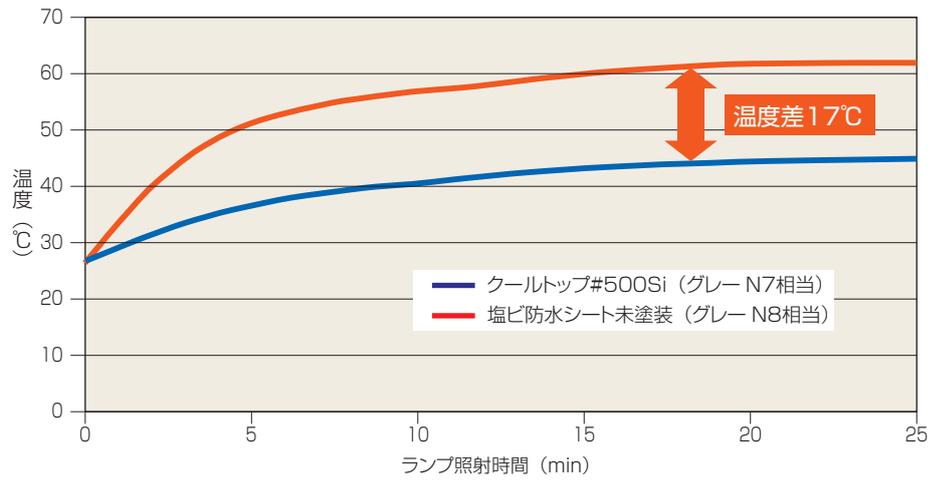
## ランプ照射試験



未塗装    クールトップ#500Si



未塗装    クールトップ#500Si



- クールトップ#500Si塗装面と塩ビ防水シート未塗装面にランプを照射した際の裏面温度を測定。
- クールトップ#500Siを塗装することで塩ビ防水シートの温度上昇を抑制できます。

## 塗膜性能

上塗り	クールトップ#500Si	防水材用トップコート	試験方法
塩ビシート防水に塗装する場合の下地調整	必要なし	溶剤系プライマー・セメント系下地調整材	
付着性	○	○ (△)	JIS K5600-5-6クロスカット法
表面粘着	○	○ (×)	80℃ 14日後 指触
耐水性	○	○	JIS K5600-6-2水道浸漬7日間
耐アルカリ性	○	○	JIS K5600-6-2水酸化カルシウム飽和水溶液浸漬7日間
温冷繰り返し抵抗性	○	○	JIS K5600-7-4
促進耐候性	○	△	キセノンランプ法
降雨時の泡立ち	極少	多い	

下地：塩ビ防水シート ( ) 下地調整なしの場合

## 塗装仕様

### 〈塩ビ防水シート塗替仕様〉

工程	塗料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
素地調整	・ごみ、埃、泥、チョーキングなどの付着物を高圧洗浄で除去、清掃後、十分乾燥させる。 ・油分は塩ビ防水シートを傷めない適切な方法で取り除く。					
上塗り	クールトップ#500Si	100	0.15~0.25	2	工程内 3時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り ローラー塗り スプレー塗り

※素地の表層劣化が著しい場合はアスファルトシーラーを下塗りしてください。

### 塗装上の注意事項

- クールトップ#500Siは塩ビ防水シート塗替専用の塗料ですので塩ビ防水シート以外の防水材には塗装しないでください。
- 塩ビ防水シートの破断、ふくれ、剥離、減耗など劣化の著しい場合には、シート防水自体の張り替えを行ってください。
- 塗装する前に被塗面のごみ、埃、泥、チョーキングなどの付着物を高圧洗浄で除去、清掃してください。
- 油分は塩ビ防水シートを傷めない適切な方法で取り除いてください。
- 塗装面は十分に乾燥させてください。
- 気温5℃以下、湿度85%以上での塗装は避けてください。
- 強風時、降雨・降雪・結露が予想される場合は塗装を避けてください。
- 使用前に十分攪拌し、均一にしてから塗装してください。
- 仕様の各数値は、標準的な数値です。素地の形状や状態・塗装方法・環境などによって増減することがあります。
- 各工程の塗装間隔及び最終養生は所定の時間を厳守してください。
- 塗膜乾燥過程の初期段階に降雨があった場合、塗膜から界面活性剤が溶出し、雨水が集中する箇所での泡の発生する可能性があります。雨水が河川に流入する恐れがある場合、地域の排水基準に則した管理を行ってください。
- 低温または高湿度などの気象条件下では、塗膜の乾燥が遅れるため、降雨の影響を受けない施工計画を立ててください。
- 塗膜上に鳥の糞、砂、土、花粉、木の葉、金属（くぎ）などを放置すると、塗膜に変色、剥離などの悪影響を及ぼします。その都度清掃してください。
- 常時、高温・高湿度になる箇所や、酸性・アルカリ性物質が当たる箇所は劣化が早くなる可能性があります。
- 屋上の雨水がドレンに流れず直接外壁に流れる構造の場合には、劣化した塗膜粉が外壁を汚染する可能性があるため、塗装は避けてください。

### 取扱い上の注意事項

- 製品の容器には、取扱い上の注意事項などを記載していますので、必ずお読みいただき正しく安全にご使用ください。特に引火及び有害の危険性がある製品は、十分注意し、安全対策を行ってください。
- 取扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。  
防塵マスク、頭巾、保護めがね、長袖の作業衣、えり巻タオル、保護手袋、前掛けなど
- 容器から取り出すときは、こぼさないようにしてください。もしこぼれた場合には、布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 臭いは食品・飲食物・衣類などに、うつる場合がありますので、作業場所から遠ざけるかまたは養生するなど、十分注意してください。
- 皮膚に付着した場合は、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合は、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだときには、直ちに医師の診察を受けてください。
- 取扱い後は、手洗い、うがい、鼻孔洗浄を十分行ってください。
- 容器を密閉し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。  
特に下記場所の保管は避けてください。  
雨水や直接日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所
- 捨てる時は、産業廃棄物として処分してください。
- 詳細な内容が必要なときには、安全データシート（SDS）をご参照ください。



営業本部 〒510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4  
研究開発本部 〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1

☎059-397-2187 FAX059-397-6191  
☎059-346-1116 FAX059-346-4585

札幌支店 ☎0133-60-6311 東京支店 ☎03-5661-2211 名古屋支店 ☎052-411-1255  
大阪支店 ☎072-862-1601 広島支店 ☎082-277-1116 四国支店 ☎0877-24-4621  
九州支店 ☎092-938-0071

取扱店